

粟田大燈呂プロジェクト

— 180年の歴史を復活させた祭の担い手に！ —

京都東山にある粟田神社。千年の歴史を持つ粟田祭はこの社最大の祭礼行事です。粟田大燈呂は「燈籠を灯して神輿に先行すること、数百、様々な創り物があり、衆人の目を驚かす。見物人おびただしくあり」「大燈呂(大きな燈籠の創り物)有り、二間方大略あり」とこの神事の記録(永禄10年)があり、ねぶたの原型とも推論されています。天保3年以前に途絶えたといわれるこの「夜渡り神事」を、180年ぶりにアートで復活させ今回で17年目。単なる制作だけではなく、神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査、京都の歴史・芸術・文化を掘り下げ、そこから見えてくる日本人の感性を捉えなおし、モノづくりとはどういう事なのかを考察します。京都の、日本の祭りを再発見し、モノづくりにおける「モノがたり」が如何に必要であるかを経験から探り、より一歩進んだグループワークを体験します。



4月2日17時までに応募フォームからエントリー
その後、4月3日～5日に各自で 履修登録

- 単位認定 芸術教養科目 ※シラバスに記載
- 定員 35名程度(応募者多数の場合は抽選)
- 履修対象 全学科・全学年
- 授業日 月曜日3,4限
- 担当教員 森岡厚次(芸術教養センター) 、 山田純(非常勤講師)
- プロジェクトの特徴(経験できること、身に付く力)
 - グループでの「からくり仕掛けの巨大造形物」の制作、ものづくりの楽しさとチームワーク力が身に付く。
 - アートで地域を活性化させる実例を学べる。
 - 京都の祭りに参加し、地域振興や歴史についての知識を深めることができる。
- スケジュール(概要) * 予定は変更になることがあります。

| 日時 | 内容 |
|--------|----------------------|
| 4月 | 履修登録締切り |
| 4月 | 抽選発表 ※応募者多数の場合 |
| 4月15日 | キックオフミーティング |
| 5月末 | 粟田地域に関するレクチャー、デザイン企画 |
| 6月 | プレゼンテーション |
| 夏季集中授業 | 図面・模型による大燈呂制作 |
| 10月 | 大燈呂制作 |
| | 納品・展示運営、粟田祭「夜渡り神事」巡行 |

- 履修にあたっての注意事項
必ずシラバスを読み、内容、スケジュール、その他注意事項をよく確認してください。
- 粟田大燈呂プロジェクトを履修する為の科目名

2年生以上は前期期間にプロジェクト探究IA(3講時)とプロジェクト探究IIIA(4講時)、夏期集中期間にプロジェクト探究VIII/芸術表現IIBを受講し、また後期期間にはプロジェクト探究IIA(3講時)とプロジェクト探究IVA(4講時)をすべて履修すること。

1年生は、社会実装プロジェクト1A(前期)、社会実装プロジェクト2A(前期)、クリエイティブプロジェクトZ(夏期集中)、社会実装プロジェクト3A(後期)をすべて履修すること。

【応募フォーム】

https://docs.google.com/forms/d/19SR54CqwCTjXCufPqMSaycmr-NumeEtVdVY1_1vcYJU/edit



- 問合せ先(応募先ではありません): 芸術教養センター(プロジェクト担当)project@office.kyoto-art.ac.jp